



4月うぶやま天文台星空情報 1

月が木星・火星に接近



天空が広がるうぶやまの高原は、陽が長くなり、暖かい風が吹き始め、春が訪れ、桜の花も咲き始めました。宵の西の空には冬の星座が見え、それを追いかけるように春の星座が東から昇ってきます。

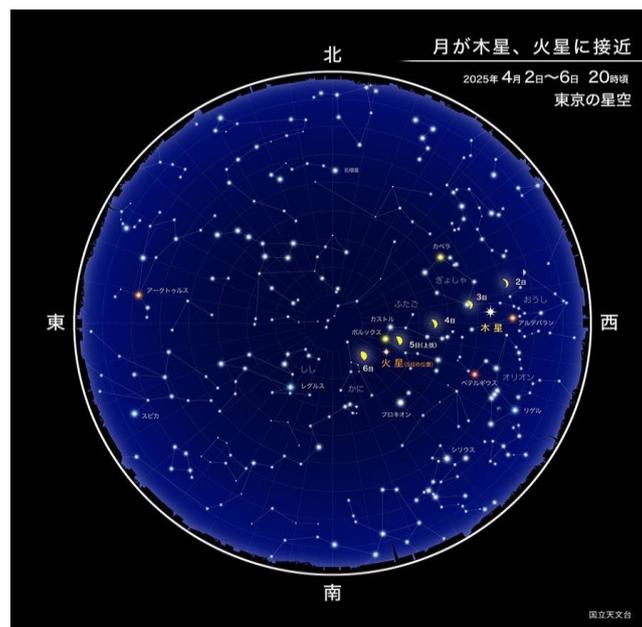
4月のうぶやま天文台星空情報の第1弾は、4月2日～6日にかけて3月末に新月になった細い月が上弦に向けて太くなりながら、木星、火星に接近する天文現象です。

日の入り後、空が暗くなって行くにつれて、西の低空に木星が見えています。また、南西から南にかけては明るい星の多い冬の星座たちも見えています。

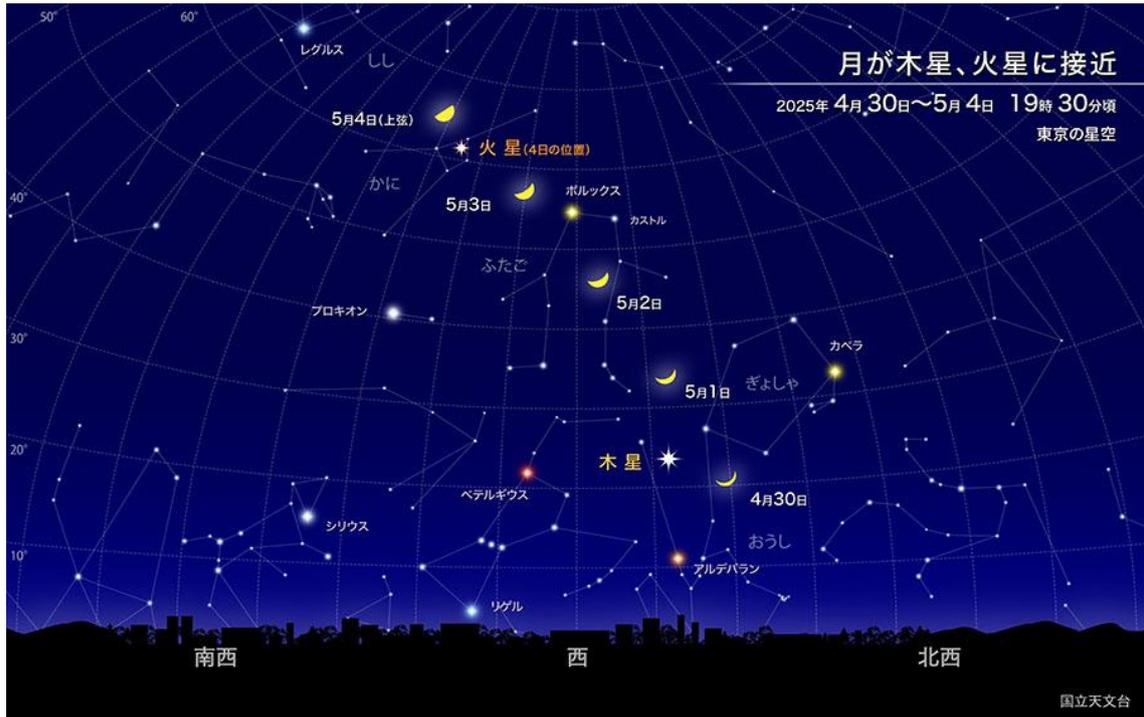
2日～3日にかけて、細い月が木星に接近します。最も近づくのは、3日朝ですが、地平線の下にあって見る事が出来ません。その前後の宵の空で、月と木星が近くに並ぶ様子が見られます。5日～6日にかけては、月は火星に近づきます。また、月末の30日から翌日にかけては、満ち欠けが一回りして三日月となった月が、再び木星に近づいて見えます。さらに5月3日～4日には、火星に近づきます。

月や惑星は、太陽の見かけの通り道(黄道)に沿って、規則正しく動いて行きます。これは、地球や惑星が太陽の周りを、公転しているために起こる事です。

毎日続けて夜空を観察していくことで、天体の運行の仕組みを感じることができます。



月が木星・火星に接近



月が木星・火星に接近